

議員と気軽に語る会 実施報告書⑫

開催日時	令和6年7月5日(金) 19時30分~20時45分
開催場所	交流会館
対象集落	奥荒田・的場・寺内・西脇・山野部
参加者数	19人
出席議員	班長(足立吉継) 司会(笹倉政芳) 記録(廣畑幸子) (藤本一昭) (橋尾哲夫) (門脇教蔵) (門脇保文) (藤原清勝) (内橋志郎) (大山由郎) (市位裕文) (吉田政義) (日原茂樹)
意見発表	(足立吉継) (藤本一昭) (内橋志郎) (廣畑幸子)
意見まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・親睦は大事。今はごみの問題、田んぼの問題がある。 ・シニアクラブも忙しい。役に付きたくない。人の世話も邪魔くさい。つながりが薄らいだ。隣近所と出会うのはお葬式ぐらい。昔は青年団、消防団に入るのは当然だったが、今は入らない。自由だ。 ・ダントツ多可町というのなら、町営住宅の空室に無償で入居を可能とする施策を考えてもよい。 ・女性のリーダー育成について、子供会、婦人会、シニアクラブなどでは女性の活躍もあるが、ほかのところでも女性の活躍ができるように力添えをお願いしたい。例えば報酬を。 ・女性の転出が多いのはなぜか。 ・議員の報酬が低すぎるから、議員のなり手が少ない。せめて、課長級の報酬にすればよい。西脇市議会議員の報酬と比べても低い。 ・川刈りや地元の神社仏閣の維持が大事だが、これからどうなるのか不安。 ・働くところがない。若者が町外に出ると帰ってこない。求人は多いと聞くが、賃金などを考えると街の方で仕事を選んでしまう。 ・地元では若い人たちで「草刈隊」を作っている。ボランティアではなく村から報酬を出す。それが若い人への応援となっている。 ・「支えあう会」を近隣の集落にも広げていければと思う。 ・視覚障がいでも安心して歩ける村をつくってほしい。 ・こういう場を設けることはよいこと。またしてほしい。 ・加美中の跡地活用。寺内は旧保育所で大変だった。早く利活用を検討すべき。 ・今更ながら加美中を使ってはどうか。活用してほしかった。バス通にするのなら一緒。

・今後何を作るのにも中区になってしまう。すべて中区ベース。役場を中村町につくった時点で決まってしまった。

・子育てするならダントツ。何がダントツなのか。学校に先生が多いわけではない。加美区への先生の配置はなめられているのか。加美町時代は町費で教員を雇って増やしていた。

・古民家に注力するのなら、教育に使うとよい。

・特色を生かすなら、予算がありませんは通用しない。

・町営住宅が空いている。何か縛りがあるのだろうが、そんなこと関係なく貸したらよい。 ・建物、箱モノ以外で人を呼び込まないと。

・多可町（加美区）は働くところも多く良いところ。

・多可町は今あるものを使うのが本当に下手。

・統合中学校の校歌は必要だったのか。歌わない歌ばかり増えていく。

・委員会や会など、住民を何回も集めて話させておきながら、結局覆えされてきた。町民のことを考える行政に。

・婦人会や青年団がなくなり担い手である人が少なくなっている。集落役員がその負担を受けてさまざまに苦勞を感じかけている。

・地域からの要望で工事をお願いしても予算がつかない。例えば、通学路の安全帯先で舗装などを要望すると、農地の多面的…などを活用するように要望される。

・地元の人が少なくなり村の作業をするのに、里帰りの参加者が結構多い。事故などの対応に「コミュニティ保険」が適用になるのかが心配。村の行事でも適用になるよう考えてもらわないと自治会として心配。

・地域行政の活動をしているときに、中山間の活動支援メニューを使うと3000 円の補助が付くといったようなことがあるが、中山間のようなメニューを率先して交付してもらいたい。

・消防団も里帰り消防団員で運営されている分団がある。消防団メンバーの実態をしっかりと調査したうえで今後の運営を考えてもらいたい。

令和6年7月5日

多可町議会議長 日原茂樹様

報告者 廣畑幸子